

2007年(平成19年)7月4日(水曜日)

# 構造設計分野に進出

## オートデスク

### アーキデータ 研究所と協業 ソリューション提供

オートデスク(東京都

中央区、鬼澤盛夫社長)

は3日、構造設計分野に

進出すると発表した。構

造計算や建築CADのシ

ステム開発などを手がけ

るアーキデータ研究所

(東京都荒川区、吉沢俊

正社長)と共同で建築構

造設計の業務を効率化さ

せる新しいソリューション

を9月から提供する。

マーケティングやセール

ス活動についても協業

し、初年度(07年9月)

08年3月)で売上高1億

円の達成を目指す。

6月20日に施行された

改正建築基準法により、

確認申請時に構造計算書

と設計図面の整合性に厳

密な審査が入るなど、正

確な設計図書の提出が求

められるようになった。

改正法に伴う建築確認

申請プロセスの変更に対

応するため、同社はCA

Dと構造計算ソフトとの

連携を実現。建築構造設

計の計画・計算から、設

計図書の作成までを一貫

して行えるソリューション

ンを提供する。

ソリューションを構成

するアプリケーション

は、3次元設計により図

面間の整合性を確保する

設計情報ソフト「Aut

oCAD Revit

Structure S

uite 2008」

(オートデスク)、任意

形状でも構造計算ができ

るプログラム「ASCA

L」(アーキデータ研究

所)、構造断面図などを

作成する「adpack

—PRO構造図」(同)

の3種類で構成。

具体的には、Revi

tとASCALを相互リ

ンクさせて設計情報をベ

ースに構造解析。その結

果からadpackを使

って構造断面リストや構

造図などを作成する。a

dpackで作成した図

面は、AutoCADに

も連動可能だ。

3種類のアプリケーシ

ョンの特徴を生かしなが

ら、データを連携させる

ことで、計画から建築確

認申請までの一連業務の

整合性を確保。設計図書  
を作成する際の人的ミス  
も大幅に減らし、スムー  
ズな確認申請手続きを実  
現できる。

同社は8月に東京でセ

ミナーを開催。地方にも  
順次展開していく予定。

セールspartnerとし  
て大塚商會が参画し、全  
国的なプロモーション活  
動も実施していく。